

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 全国高等学校総合文化祭開催準備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化伝承課全国高校総合文化祭係開催準備係

電話番号：058-272-1111(内 4685)

E-mail：c11148@pre.gifu.lg.jp

1 事業費 28,031千円（前年度予算額：13,000千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,000	0	0	0	0	0	0	0	13,000
要求額	28,031	0	0	0	0	0	0	0	28,031
決定額	28,000	0	0	0	0	0	0	0	28,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

各都道府県代表高校生による芸術文化活動の祭典である全国高等学校総合文化祭は、令和6年度に岐阜県での開催が内定している。

当該文化祭は、高校生の創造活動の向上や相互交流を図るものであり、その成功に向けて着実な準備を進めていく必要がある。

開催2年前となる令和4年度は、実行委員会を立ち上げ、生徒と共に企画・運営についての検討を行い、開催に向けた準備を進めていく。

(2) 事業内容

- ・ 開催要綱の策定、実行委員会設立準備
- ・ 各種制作物の公募、決定
- ・ 先催県の視察及び実行委員会等会議出席などを通じた情報収集
- ・ 会場市町との連絡調整
- ・ 規定未設置部門の立ち上げ及び強化

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	0	
旅費	9,054	職員業務旅費（県外視察調査、文化庁等調整等）
需用費	1,512	事務局消耗品費、公募表彰に係る副賞等
役務費	300	事務局郵便代、電話代
委託料	786	生徒実行委員会募集チラシ作成、実行委員会会場整備
使用料及び賃借料	517	実行委員会会場費等
負担金	15,862	実行委員会負担金
合計	28,031	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県教育ビジョンにおいて「スポーツ・文化等の分野で個性を伸ばす教育の推進」が目標として掲げられている。

(2) 国・他県の状況

令和3年度開催 和歌山県

令和4年度開催 東京都

令和5年度開催 鹿児島県

(3) 事業主体及びその妥当性

全国高等学校総合文化祭の主催者は、文化庁、全国高等学校文化連盟、開催県高等学校文化連盟、開催県及び開催会場市町である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・本大会の開催を通じて、高校生の創造活動の向上や生徒間の交流を図り、高校生の文化部活動の活性化につなげるとともに、鑑賞者も含めた県民全体の芸術文化活動の機会創出と育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
						%
① 高校文化部活動に取り組む生徒の割合（公立）	17.9%	17.1	17.4	17.7	18.3	%
②	/	/	/	/	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・先催県から情報収集を行い、開催に向けての業務の明確化、各部門の課題の洗い出しができた。 ・開催会場候補市町村との調整を進め、開催会場計画を作成した。 ・未設置部門について、他県先進校の活動や県総文祭における部門運営等を視察し、次年度以降に向けて開催手法を学ぶことができた。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>・ 各県が持ち回りで開催する事業であり、主催は文化庁、全国高等学校文化連盟、開催県高等学校文化連盟、開催県及び開催会場市町である。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 1	<p>・ 令和3年度和歌山大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、各部門会場等では一部観客を制限して開催したことにより、通常年の大会の様子を確認することができなかったが、視察により総合開会式やパレード及び部門開催の内容を確認することができ、開催に向けた準備を行っている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>・ 視察や先催県から情報収集した結果を高文連や高文連各部門と共有し、開催に向けた準備を着実に進めている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本大会に向け、特に部門教員の業務が増加することから、授業時間数軽減措置に伴う代替講師の配置など人件費要求の必要がある。

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本大会開催・成功に向けて着実に段階を踏んで準備を継続していくとともに、大会を契機とした文化芸術活動を通じた創造活動を推進していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	